2013 前期 別冊 TMU CROSS ROAD REPORT

FDとは「ファカルティ・ディベロップメント（Faculty Development）」の略語で、「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称」と定義されています。
首都大学東京では、各学部・系、研究科から選出されたFD委員を中心に全学FD委員会を組織し、教育活動の改善のために様々な活動を行っています。

2012 年度後期 全学共通科目の授業評価アンケート集計結果をお知らせします。

多くの学生の皆さんにご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

TMU FD REPORT

授業評価アンケートの結果を受けて、
さまざまな教育改善がなされています。

都市教養プログラム

こんな意見が多くありました（学生）
・クラス規模が小さければ、もっと意味のある討論や発表できて面白かったのでは。
・小テストの結果を踏まえた対策や補講があってありがたかった。
・様々な分野で活躍されているゲストスピーカーのお話が有意義だった。
・遅刻者に対して甘いと思う。集中力が切れるので改善してほしい。

授業担当者から（教員）
・学生たちの意欲の差が大きく、授業内容の展開が難しい。
・学生の質問が少ないので、質問を促す方法が必要。
・得た知識と知りたい事項を毎回アンケートで聞いて、次回の講義で答えた。

担当部会からのコメント
2011 年度後期に比べ、「教員の説明はわかりやすかった」「シラバスは授業選択に役立った」という項目の評価が上がっています。「授業に満足した」「自分の視野が広がった」という二項目の評価が向上していることは、そうした教員の努力が実を結んだものと言えるでしょう。引き続いての取り組みをお願いします。

アンケート結果からの教育改善例
・予習・復習はプリントにして配布するようにした。
・説明をゆっくりするように心がけた。
・私語への不満について学生へ伝えたところ、私語が減った。

実践英語Ⅱb

こんな意見が多くありました（学生）
・CALL 教材が学習意欲の向上にとても役立った。
・SNS を活用して、多くの人と英語でコミュニケーションができた。
・隔週で課題が出たのでメリハリがついた。
・リスニングの題材にもう少し身近なテーマを取り入れてほしい。

授業担当者から（教員）
・音読の時間を増やし、総合的な英語力向上を目指したい。
・関連するガイドブックやパンフレット、新聞記事を紹介し、知識の共有を試みた。
・授業外でも英語に触れられるように、SNSを運営して海外との交流を促している。

担当部会からのコメント
アンケート調査の結果から、実践英語Ⅱbの授業は学生諸君に十分な成果をもたらしていると言っても差し支えありませんが、授業の満足度をさらに向上させるため、2013 年から新カリキュラムを導入します。また、授業時間外での学習時間が十分ではないので、時間増加をさせるべく新たな改善策を模索していきます。

アンケート結果からの教育改善例
・テストが難しいという感想があったため、復習テストを作るようにした。
・テキストの内容が知的好奇心を満たすものであるよう、こだわって選んだ。
・スピーチやプレゼンスキルの向上を目標とした活動を工夫した。

第二群言語科目（独Ⅰ、仏Ⅰ、中Ⅰ、朝Ⅰ）

こんな意見が多くありました（学生）
・宿題の量が多くて苦労した。
・ビデオなどでその国の文化に触れる機会があり、モチベーションを維持できた。
・基礎を体系的に学べたうえ、きちんと演習もしてもらえた。
・先生と生徒の距離が近く、意欲的に勉強できる環境だった。

授業担当者から（教員）
・自律学修を期待し、学習記録を学生に毎回つけてもらった。
・教員と学生の双方向コミュニケーションをもっと増やしていきたい。
・全教室にPCを設置して、映像を見せながら授業ができれば良いと思う。

担当部会からのコメント
今回から第二群言語科目でもアンケートを開始し、皆さんの学習状況や満足度を把握するようにしました。大学生の特権は、英語以外も学ぶことで、国際化時代に相応しい言語能力や異文化理解を磨く点にあります。言葉と論理の根本的な学習を通じて、皆さんの人間力を洗練させるために担当教員一同、教育改善に取り組んでいきます。

アンケート結果からの教育改善例
（※ 第二群言語科目は今回初めてアンケートを実施）

情報リテラシー実践Ⅱ

こんな意見が多くありました（学生）
・授業の進行が速い。もう少し作業する時に時間がほしい。
・ポートフォリオを初めて活用したが、面白かった。
・統計に関する具体例が身近で、理解を深めるうえで良かった。
・実際に多くのプログラミングが経験でき、満足のいく内容だった。

授業担当者から（教員）
・毎回講義の目的と合致した課題を提示し、より効果的な指導をした。
・概念的な解説だけでなく、アンケートの作成・集計など統計の実践的取組みを行った。
・プログラミングをする目的やアルゴリズムについてのテキストを充実させる必要がある。

担当部会からのコメント
アンケート結果からは、皆さんが熱心に授業に取り組むとともに満足度が高かったことが分かります。また、本年度は授業時間外の学習について、若干改善が見られました。今後は、様々な場面でのコンピュータの活用を通して、リテラシーの定着がはかられるよう努力してください。

アンケート結果からの教育改善例
・毎回の講義後にコースウェアに講義スライドを提示するようにした。
・課題ができなかった受講生をフォローするため、解説のスライドを作成した。

理工系共通基礎科目

こんな意見が多くありました（学生）
・演習問題の解説を、授業中にしっかりしてくれてわかりやすかった。
・原理や証明も重要だが、具体的な例題をもっと取り入れてほしい。
・板書が雑で読みにくい。
・毎回演習問題があったので、テスト前の負担が減ってよかった。

授業担当者から（教員）
・疑問点について学生からアンケートをとり、次週の授業でフィードバックした。
・ホームページを活用して宿題を出した。
・メーカーでの製品開発事例など具体例を紹介し、この学問分野の必要性、有用性を伝えた。

担当部会からのコメント
全項目で昨年度とほぼ同じ結果（ 値 ）となっていますが、数年分のデータを比較すると、授業時間外学習時間の増加を含め、全項目で平均値が上昇しています。これは、教員のみならず皆さんの授業への取り組み方を反映しているものです。興味のある講義科目については、さらに主体的に授業時間外学習を行うことを期待しています。

アンケート結果からの教育改善例
・授業中に示した問題の回答をほぼ全て説明することにした。
・基礎的な事項の再確認を十分に行った。
・板書の仕方などに関する要望に応えるよう努めた。
・演習問題を解説する時間を多くとった。

【どうして聞くの？】
「授業評価アンケート」

この授業評価アンケートは、授業改善を目的として、首都大学東京の開学以来実施しています。改善は進んできましたが、まだ十分とは言えません。

ある調査では、日本の大学生を対象に学習に関する調査を行い、半年前に受講した学習の定着度を、「講義のあらすじを思い出せる」、「講義のキーワードだけなら思い出せる」、「どんな講義がなされていたのか全く思い出せない」に分け、それぞれの割合を分析しました。その結果、講義のあらすじを思い出せる学生は 2 パーセント、講義のキーワードだけなら思い出せる学生は 29 パーセント、残りの約 7 割の学生は、どんな講義がなされていたのか全く思い出せないという調査結果をまとめました。これでは、学習が効果的、効率的に行なわれているとは言えません。これは学習者だけの問題でしょうか。授業は、シラバスに書かれた学習目標までの、長い旅行のようなものです。この長い旅行は、毎年繰り返され、みなさんの後輩たちも、その同じ旅路を歩むわけです。旅行者である学習者と、ガイドの授業担当者は、手を取合い、来年の旅行者が、より良い旅路を歩めるようにしたいものです。

社会は大学での授業に、時間数だけでなく、効果的で質の高い教育への転換を求めています。このアンケートでは、みなさんの意見を聞くことで、教育の質的改善を目指しています。どんな些細なことでも、あなたの意見は必ず授業担当者に届きます。さらに、定期的に開催するセミナーなどにその意見を反映させています。あなた自身の意見が、首都大学東京の「学び」を改善する一助となります。ともに未来の首都大学東京の学びを創造していきましょう。

【編集後記】

数年来実施されてきた授業評価アンケートの蓄積によって、学生のみなさんの意欲や満足度がデータとして効果的に把握され分析されてきました。FD 活動では主にアンケートによって学生の気持ちや意見を数値化し、教職員がその客観的な数値を分析して改善に役立ててきました。

ただ、学生との対話や議論の場を設けて、教育改善を成功させている大学は少なくありません。生身の学生の声や気持ちと直接向き合うような授業改善の方法がそろそろ必要なのかもしれません。

2012 年度 FD 委員会 委員
西山雄二（都市教養学部人文・社会系国際文化コース 准教授）

別冊クロスロード 2013 春号（第 8 号）
編集発行：首都大学東京 FD 委員会
FD 活動や教育改善に関するみなさんの声をお寄せください。
fdwww@tmu.ac.jp

首都大学東京
TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

R100

学生による授業評価（SE）集計結果

実施期間：2013 年 1 月 4 日（金）～2013 年 1 月 21 日（月）

結果の詳細はFD委員会ホームページに掲載しています。　http://www.comp.tmu.ac.jp/FD/

都市教養プログラム

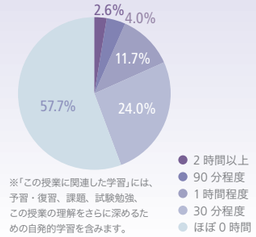
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	平均値	標準偏差
1 私はこの授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	15.8%	40.8%	30.4%	10.1%	2.8%	3.57	0.97
2 授業の目的を意識しながら学習することができた。	13.5%	42.3%	31.5%	9.7%	2.9%	3.54	0.94
3 教員の説明はわかりやすかった。	23.2%	44.2%	24.0%	6.4%	2.3%	3.80	0.94
4 教員は学生の質問・意見に対して適切に対応していた。	19.6%	38.7%	35.0%	4.7	2.1%	3.69	0.91
5 成績評価方法について十分な説明があった。	21.3%	36.6%	29.8%	9.2%	3.0%	3.64	1.01
6 シラバスに目標として掲げられている知識や能力を獲得できた。	10.4%	38.6%	40.3%	8.0%	2.8%	3.46	0.88
7 私はこの授業を受講して満足した。	25.1%	41.7%	24.5%	5.9%	2.9%	3.80	0.97
8 この授業のシラバスは、授業選択に役立つような内容でしたか？	15.7%	41.9%	34.3%	5.9%	2.1%	3.63	0.89
9 この授業を受講したことによって、自分の視野が広がったと思いますか？	26.3%	47.7%	20.1%	3.9	2.1%	3.92	0.90
10 授業全体を振り返ってみて、あなたにとってこの授業の難易度はどうでしたか？	3.1 8.3	64.4%	18.8%	5.4%		2.85	0.77

10 のみ　易しかった　やや易しかった　ちょうどよかった　やや難しかった　難しかった

履修登録者数：13,070 人　回収数：5,498　回収率：42.1%

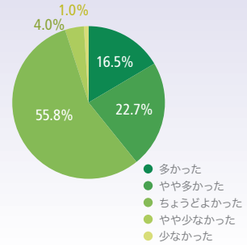
授業数：89 クラス　回収数：75　回収率：84.3%

授業時間以外で一週間に平均どれくらい、この授業に関連した学習※をしましたか？



※「この授業に関連した学習」には、予習・復習、課題、試験勉強、この授業の理解をさらに深めるための自発的学習を含みます。

授業の内容や形態を考えると、このクラスの人数はどうであったと思いますか？



実践英語IIb

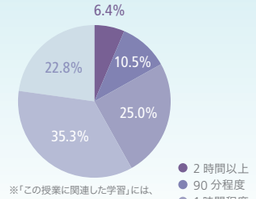
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	平均値	標準偏差
1 私はこの授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16.3%	46.5%	27.5%	7.5%	2.2%	3.67	0.91
2 授業の目的を意識しながら学習することができた。	16.7%	47.3%	26.6%	6.9%	2.4%	3.69	0.91
3 教員の説明はわかりやすかった。	34.0%	44.4%	16.1%	3.5	2.0%	4.05	0.91
4 教員は学生の質問・意見に対して適切に対応していた。	32.9%	43.9%	17.1%	4.2	1.9%	4.02	0.92
5 成績評価方法について十分な説明があった。	28.2%	37.2%	26.1%	6.2%	2.3%	3.83	0.98
6 シラバスに目標として掲げられている知識や能力を獲得できた。	12.2%	38.6%	41.1%	5.3%	2.7%	3.52	0.87
7 私はこの授業を受講して満足した。	29.2%	41.9%	21.6%	4.0	3.3%	3.90	0.98
8 この授業によって、英語への関心が高まった。	23.2%	39.2%	26.9%	6.8%	3.9%	3.71	1.02
9 この授業の難易度は、あなたにとってどうでしたか？	3.9 14.1%	52.5%	24.8%	4.8%		2.88	0.85

9 のみ　易しい　やや易しい　どちらとも言えない　やや難しい　難しい

履修登録者数：1,603 人　回収数：1,244　回収率：77.6%

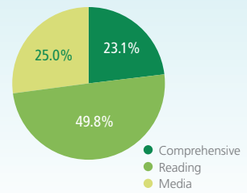
授業数：79 クラス　回収数：74　回収率：93.7%

授業時間以外で一週間に平均どれくらい、この授業に関連した学習※をしましたか？



※「この授業に関連した学習」には、予習・復習、課題、試験勉強、この授業の理解をさらに深めるための自発的学習を含みます。

私が選んだのは、次のジャンルの授業だった。



第二群言語科目（独Ⅰ、仏Ⅰ、中Ⅰ、朝Ⅰ）

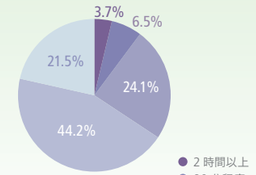
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	平均値	標準偏差
1 私はこの授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	17.8%	44.1%	26.7%	9.4%	2.0%	3.66	0.94
2 授業の目的を意識しながら学習することができた。	17.8%	47.8%	24.9%	7.2%	2.3%	3.72	0.92
3 教員の説明はわかりやすかった。	33.6%	42.9%	15.8%	5.3%	2.3%	4.00	0.96
4 教員は学生の質問・意見に対して適切に対応していた。	35.0%	43.7%	17.0%	2.6	1.8%	4.07	0.88
5 成績評価方法について十分な説明があった。	19.0%	37.6%	31.9%	9.4%	2.1%	3.62	0.97
6 シラバスに目標として掲げられている知識や能力を獲得できた。	10.1%	38.2%	39.4%	9.4%	2.9%	3.43	0.90
7 私はこの授業を受講して満足した。	26.4%	43.6%	20.8%	6.1%	3.2%	3.84	0.99
8 この授業は、今後のあなたの言語学習に資するところがあった。	23.0%	44.7%	23.5%	6.2%	2.6%	3.79	0.95
9 今年度の教科書の難易度はどうでしたか。	2.2 5.1	64.4%	21.9%	6.4%		2.75	0.74

9 のみ　易しい　やや易しい　ちょうどよい　やや難しい　難しい

履修登録者数：2,237 人　回収数：1,422　回収率：63.6%

授業数：114 クラス　回収数：100　回収率：87.7%

授業時間以外で一週間に平均どれくらい、この授業に関連した学習※をしましたか？



※「この授業に関連した学習」には、予習・復習、課題、試験勉強、この授業の理解をさらに深めるための自発的学習を含みます。

情報リテラシー実践II

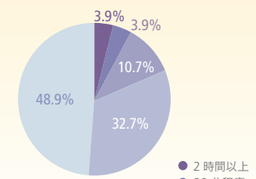
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	平均値	標準偏差
1 私はこの授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	27.5%	51.1%	17.7%	2.5	1.2%	4.01	0.81
2 授業の目的を意識しながら学習することができた。	22.2%	54.2%	18.0%	4.2	1.5%	3.91	0.83
3 教員の説明はわかりやすかった。	34.6%	40.7%	19.0%	4.1	1.5%	4.03	0.91
4 教員は学生の質問・意見に対して適切に対応していた。	39.4%	40.1%	16.7%	2.7	1.2%	4.14	0.87
5 成績評価方法について十分な説明があった。	19.4%	35.9%	33.2%	9.3%	2.2%	3.61	0.97
6 シラバスに目標として掲げられている知識や能力を獲得できた。	15.3%	51.0%	27.2%	5.3%	1.2%	3.74	0.82
7 私はこの授業を受講して満足した。	34.2%	48.5%	13.1%	2.9	1.2%	4.12	0.83
8 教材等の使用が授業の理解に役立った。	28.7%	35.3%	30.1%	3.9	2.0%	3.85	0.95
9 チューターは学生の質問･意見に対して適切に対応していた。	40.6%	38.4%	16.1%	3.9	1.0%	4.14	0.89
10 統計やデータベース（IIA）・プログラミング（IIB）・画像と音（IIC）についてよく知り、活用することができた。	17.3%	53.6%	23.3%	3.8	1.9%	3.81	0.83
11 授業全体を振り返ってみて、あなたにとってこの授業の難易度はどうでしたか？	4.1 6.0	40.1%	35.5%	14.3%		2.50	0.95

11 のみ　易しかった　やや易しかった　ちょうどよかった　やや難しかった　難しかった

履修登録者数：523 人　回収数：420　回収率：80.3%

授業数：25 クラス　回収数：24　回収率：96.0%

授業時間以外で一週間に平均どれくらい、この授業に関連した学習※をしましたか？



※「この授業に関連した学習」には、予習・復習、課題、試験勉強、この授業の理解をさらに深めるための自発的学習を含みます。

理工系共通基礎科目

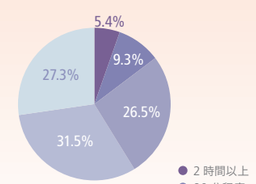
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	平均値	標準偏差
1 私はこの授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	15.7%	35.6%	36.4%	9.5%	2.8%	3.52	0.96
2 授業の目的を意識しながら学習することができた。	12.7%	35.9%	38.6%	9.7%	3.0%	3.46	0.94
3 教員の説明はわかりやすかった。	17.6%	33.6%	32.7%	10.8%	5.4%	3.47	1.07
4 教員は学生の質問・意見に対して適切に対応していた。	18.1%	33.9%	37.6%	7.3%	3.1%	3.56	0.97
5 成績評価方法について十分な説明があった。	16.9%	30.6%	38.2%	11.0%	3.3%	3.47	1.00
6 シラバスに目標として掲げられている知識や能力を獲得できた。	9.7%	29.3%	47.4%	10.0%	3.6%	3.32	0.91
7 私はこの授業を受講して満足した。	16.1%	33.5%	36.3%	9.5%	4.7%	3.47	1.02
8 快適な環境下でこの授業を受けることができた。	13.2%	31.6%	39.0%	11.7%	4.5%	3.37	1.00
9 この授業テーマは自分の関心にあっていた。	11.1%	28.0%	44.8%	11.4%	4.6%	3.30	0.97
10 授業全体を振り返ってみて、あなたにとってこの授業の難易度はどうでしたか？	3.5 7.0	41.4%	31.8%	16.4%		2.49	0.96

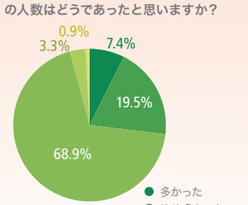
10 のみ　易しかった　やや易しかった　ちょうどよかった　やや難しかった　難しかった

履修登録者数：4,018 人　回収数：2,305　回収率：57.4%

授業数：57 クラス　回収数：50　回収率：87.7%

授業時間以外で一週間に平均どれくらい、この授業に関連した学習※をしましたか？



※「この授業に関連した学習」には、予習・復習、課題、試験勉強、この授業の理解をさらに深めるための自発的学習を含みます。

授業の内容や形態を考えると、このクラスの人数はどうであったと思いますか？